

基本理念

ひと、まち、みどりがつなぐ ”観光創造都市いたばし“

板橋区は、都市化が進んでいる東京23区にありながら、宿場町として栄えた街道文化の歴史、まちに息づく伝統文化、時代を越えて進化してきた産業、情緒あふれるまちなみ、古くから愛されてきた活気ある商店街など、「ひと」や「まち」をつなぐ文化が根付いています。

また、河川や公園をはじめとする憩いと潤いをもたらす「みどり」も多く残っていることから、世代を超えて多くの人々に親しまれています。

板橋区の観光は、これらの板橋ならではの地域資源を単体で発信するだけでなく、歴史・文化・自然を同時に楽しむことができる空間を創造する、また、まちづくりを活かして、多様な人々の交流とにぎわいの場を創出するなど、様々な主体の特徴を活かし、つなぎ合わせることで、新たな価値を創造し、発信していくことをめざすものです。

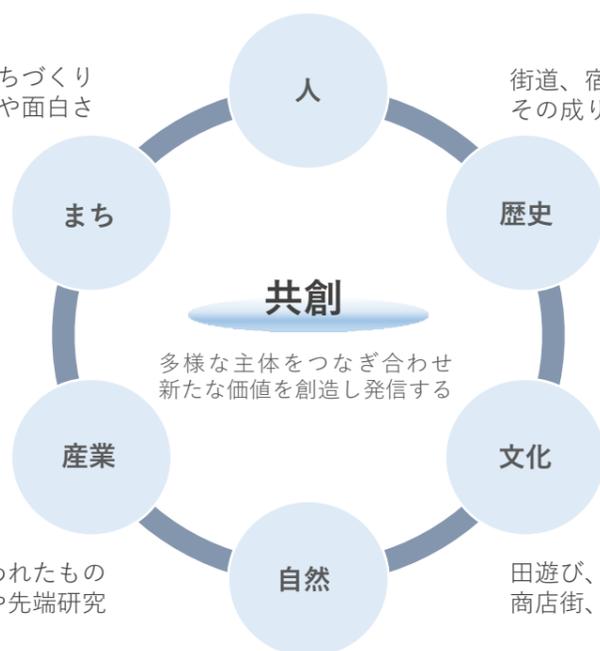
区民にとっては、訪れる人に思わず自慢したくなるようなまちとして、来訪者にとっては、訪れてみたくなるまちとして、”観光創造都市いたばし”の魅力を育んでいきます。

基本理念の実現に向けた主な視点

区民、来訪者、観光に携わる人による、にぎわいや温かみのある交流

絵本のまち、駅周辺のまちづくりに加え、まちの持つ魅力や面白さ

街道、宿場町などの歴史資源やその成り立ち、背景にあるストーリー



多様な主体をつなぎ合わせ
新たな価値を創造し発信する

長い歴史の中で培われたものづくりなどの技術や先端研究

田遊び、里神楽などの伝統文化や、商店街、食といった生活文化

河川、公園などの豊かな自然環境や崖線など自然の地形

5つの戦略

戦略1

探し、しりたくなる
～時代を越えて進化してきた、
先端研究や歴史・伝統文化の継承～

区の産業や科学技術の発展の歴史を発信し、学び・体験の場を創造します。
また、歴史に込められた物語や背景を掘り起こすことで、来訪者の知的好奇心をかき立てるとともに、伝統文化や文化財を保全し、次世代へ継承します。

戦略2

歩き、いきたくなる
～緑とにぎわいが共存する、
ウォーカブルな空間の創造～

緑豊かな公園や特色ある地形・景観を活かし、緑とにぎわいが共存するウォーカブルな空間を創造します。
また、回遊性を促進するイベントなどの実施により、にぎわいづくりを創出します。

戦略3

集い、すごしたくなる
～新たに生まれるまちを拠点とした、
にぎわいと交流の創出～

まちづくりにより整備された駅前空間や新たに整備する水辺空間を活かして、にぎわいと交流を創出します。
また、ユニバーサルデザインの視点を用いて、バリアフリー対応の充実や二次交通の利用促進により利便性の向上を図ります。

戦略4

伝え、もてなしたくなる
～人やまちのもつ面白さや魅力の発信～

観光大使や観光キャラクターによるPRや、来訪者のニーズにこたえる観光人材を育成し、魅力を発信します。
また、多様な媒体や発信方法を駆使することで、あらゆる世代に地域資源の理解と再発見を促し、板橋の人やまちのもつ面白さや魅力を未来へと伝えていきます。

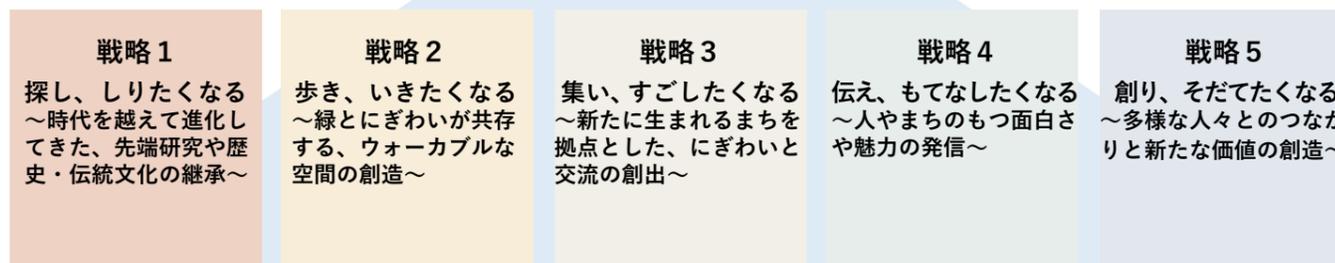
戦略5

創り、そだてたくなる
～多様な人々とのつながりと
新たな価値の創造～

まち全体が一体となって「絵本のまち板橋」の取組を推進することで、「絵本のまち」の文化を育てていくとともに、区内外にその魅力を発信していきます。
また、多様な人々との交流や様々な体験ができる環境を整備し、新たな価値を創出していきます

ひと、まち、みどりがつなぐ ”観光創造都市いたばし“

基本理念の実現に向けて5つの戦略を設定



2035年
めざす姿

戦略1

探し、しりたくなる
～時代を越えて進化してきた、
先端研究や歴史・伝統文化の継承～

時代を越えて進化してきた板橋固有の産業、歴史、伝統文化などの地域資源が掘り起こされ、「探してみたい」「もっと知りたい」と思えるストーリーや体験プログラムが整っています。
また、その魅力が来訪者に伝わり、未来へと受け継がれています。

戦略2

歩き、いきたくなる
～緑とにぎわいが共存する、
ウォーカブルな空間の創造～

豊かな緑を活かした交流拠点が整備され、緑とにぎわいが共存する魅力的な空間となっています。
また、板橋ならではの地域資源の魅力が区内外に広がり、区民や来訪者が歩き、行ってみたい環境が整っています。

戦略3

集い、すごしたくなる
～新たに生まれるまちを拠点とした、
にぎわいと交流の創出～

まちづくりにより整備された駅前空間とそこからつながる公園・商店街が一体となり、あらゆる世代の人が集い・交流し、にぎわいのあるまちが実現しています。
また、誰もが安心して快適に滞在できる環境が整備され、心地よく、過ごしたくなる空間が各所に広がっています。

戦略4

伝え、もてなしたくなる
～人やまちのもつ面白さや
魅力の発信～

板橋でしか体験できない面白さや「もてなし」が多くの人に伝わり、また訪れてみたい魅力あるまちとなっています。

戦略5

創り、そだてたくなる
～多様な人々とのつながりと
新たな価値の創造～

「絵本のまち」が日常に浸透し、区内外で広く知られるブランドとして認識され、文化的な魅力あるまちとなっています。
また、様々な主体とのつながりが生まれ、創造的な活動ができる環境が整っています。

施策

過去と未来が交差する新たな価値の創造



国史跡を保存活用した史跡公園と産業ミュージアムを整備し、歴史や産業の軌跡を発信し未来へ継承する拠点となることをめざします。

歴史のストーリーを探る観光の推進



歴史・文化資源を活用した徒歩で巡る観光ルートを整備し、ARを活用することで魅力を発信し、記憶に残る体験を提供します。

伝統文化や文化財の次世代への継承



貴重な無形民俗文化財を学校や地域団体と連携し、体験的に学ぶ機会を充実させ、次世代へ継承します。

「交通・交流・みどり」が一体となった交通公園によるにぎわいの創出



モビリティ体験、農体験の実施や自由楽しめる交流空間を整備することで、交通・交流・みどりが一体となったにぎわい空間を創出します。

崖線や桜並木など板橋ならではの地形や景観の散策の促進



崖線や桜並木などの景観を活かし、フォトコンテストやフォトウォーク、スタンプラリーで回遊性を高めます。

商店街・食がたぐ「まちなか回遊」の推進



商店街や食の魅力が多様な媒体で発信するとともに周遊企画を通じて、まちなか回遊を促進します。

まちづくりを活かしたにぎわいとつながりのある空間の創造



駅周辺の再開発空間を活用し情報発信・交流拠点として、世代を超えたつながりと地域への愛着を育みます。

かわまちづくりによるにぎわいの創出



荒川の河川空間とみどりを活かし、スポーツ機能やイベント環境を充実させ、にぎわいと憩いに満ちた空間を創出します。

誰もが快適で居心地良く過ごせる滞在環境づくり



「りんりんGO」やデジタルマップの活用、赤ちゃんの駅を設置を進め、誰もが快適に過ごせる環境を整えます。

観光大使やりんりんちゃんによる魅力発信と観光人材の育成



観光大使や「りんりんちゃん」の認知度を活かし、魅力を広く伝えるとともに、観光人材を育成することで質の高いおもてなしを提供します。

「板橋マニア2(仮称)」と「観光検定(仮称)」によるまちの面白さの発信



板橋マニア2の制作や観光検定などを通じて、あらゆる世代に地域の魅力を発信し、地域資源の理解と再発見を促します。

板橋を代表する「花火大会」など四季折々の多彩なイベントによる魅力発信



「いたばし花火大会」など多彩なイベントを展開し、デジタル技術の活用などで進化させながら魅力を未来へ伝えていきます。

「絵本のまち板橋」の取組推進



クリエイター・企業・大学などが一体となった取組を推進していくことで、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟をめざします。

「えんのもり」を活用した創造拠点の形成



新しい板橋区の玄関口となるこの地を観光案内拠点として活用し、創造的なコミュニティの形成をめざします。

創造の場の形成と未来を担う人材の育成



「こども動物クラブ」や成増農業体験学校などを通じて、ふれあい体験できるだけでなく、地域とともに未来を担う人材を育成します。

計画期間

7年度 (2025)	8年度 (2026)	9年度 (2027)	10年度 (2028)	11年度 (2029)	12年度 (2030)	...	17年度 (2035)
基本構想	次期 板橋区基本構想						
基本計画	次期 板橋区基本計画						
いたばしNo.1実現プラン	次期 いたばしNo.1 実現プラン						
ビジョン2025 平成29(2017)年度から	板橋区 観光振興ビジョン 2035 令和8(2026)年度から令和17(2035)年度まで						

今後のスケジュール

令和8年	1月	庁議(素案)
	2月	区民環境委員会(素案)
	2月	パブリックコメント
	2月	作業部会・検討委員会
	3月	庁議(原案)
	4月	区民環境委員会(原案)